

広報資料(ここに掲載されている情報は、発表日現在の情報です)

2011年(平成23年)10月14日

福島県弁護士会

11月3日(祝) シンポジウム 脱原発から廃炉への道筋 –「福島」の再生に向けて– の開催について

福島県弁護士会は、日本弁護士連合会、東北弁護士会連合会との共催により、来る11月3日(祝)、福島市公会堂において 下記のとおりシンポジウム 脱原発から廃炉への道筋 –「福島」の再生に向けて– を開催いたします。

このシンポジウムでは、放射能の測定、健康被害対策、廃棄物問題やエネルギー・原子力政策の転換について、私達は放射能とどう向き合えばいいのか、脱原発から廃炉をどうすれば実現できるのかを考えます(予約不要)。

記

シンポジウム 脱原発から廃炉への道筋–「福島」の再生に向けて–

第1部 除染・健康被害の問題について

第2部 脱原発・エネルギー問題について

日時 2011年11月3日(祝)

午後1時30分～午後4時30分(開場:午後0時30分)

場所 福島市公会堂

主催 福島県弁護士会・日本弁護士連合会・東北弁護士会連合会

以 上

(お問い合わせ先 日本弁護士連合会 人権部人権第二課(TEL:03-3580-9509))

シンポジウム

脱原発から廃炉への道筋 —「福島」の再生に向けて—

日時 2011年11月3日(木・祝)

午後1時30分～午後4時30分(開場:午後0時30分)

場所 福島市公会堂 (〒960-8018 福島市松木町1番7号)

主催 日本弁護士連合会・東北弁護士会連合会・福島県弁護士会
参加無料

福島第一原子力発電所の事故は、福島県を中心に甚大な被害を発生させました。事故は未だ収束しておらず、その被害は現在も拡大しています。

本シンポジウムでは、放射能の測定、健康被害対策、廃棄物問題やエネルギー・原子力政策の転換について、各分野の第一線で活躍されている専門家をお招きして、御報告をいただき、私達は放射能とどう向き合えばいいのか、脱原発から廃炉をどうすれば実現できるのかを考えます。

多くの皆さまの御参加をお待ちしております。

内容(予定)

特別報告・パネルディスカッション

■報告者・パネリスト

- 青山 禎一(東京都市大学教授)
飯田 哲也(NPO法人環境エネルギー政策研究所所長)
阪上 武(福島老朽原発を考える会(フクロウの会)代表)
鈴木 浩(福島大学名誉教授)
菅野 昭弘(福島県弁護士会会長)
青木 秀樹(弁護士)
小島 延夫(弁護士)
海渡 雄一(日本弁護士連合会事務総長)



(地図:福島市のホームページより抜粋)

公共交通機関利用での御来場をお願い申し上げます。

■福島駅より徒歩15分

■福島交通バス:福島市内循環線「新浜公園」停留所より徒歩5分

※当日の会場までのアクセスは下記のホームページから御確認ください。

- ・福島市公会堂HP <http://www.f-shinkoukousha.or.jp/koukaidou/annai.html>
- ・福島市HP <http://www.city.fukushima.fukushima.jp/shisetsu/bunka/koukaidou/index.html>

-----参加申込書(切り取り不要・送信票不要)-----

日本弁護士連合会 人権部人権第二課行(FAX:03-3580-2896)

※事前申込なしでも御参加いただけますが、人数把握のため、できる限り事前にお申し込みください。

御名前

／御所属・連絡先

問い合わせ先:日本弁護士連合会 人権部人権第二課(TEL:03-3580-9509, FAX:03-3580-2896)

御提供いただいた個人情報は、日本弁護士連合会のプライバシーポリシーに従い厳重に管理いたします。また、この個人情報に基づき、日本弁護士連合会もしくは日本弁護士連合会が委託した第三者より、シンポジウム等のイベントの開催案内、書籍のご案内その他当連合会が有益であると判断する情報をご案内させていただくことがあります。

なお、個人情報は、統計的に処理・分析し、その結果を個人が特定されないような状態で公表することがあります。

※当日は、日弁連職員による撮影があり、撮影した映像・画像は日弁連の広報に使用される可能性があります。

※撮影をされたくない方は、当日、担当者にお知らせください。